

和歌山市立西浜中学校

平成30年度全国学力・学習状況調査結果の概要と具体的な取組

調査内容

実施日：平成30年4月17日(火) 実施対象：3年生 5学級 153名

全国学力・学習状況調査は、出題範囲を調査実施学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、国語・数学の2教科について、「知識」と「活用」の2種類の問題が出題されます。**国語A・数学A**では、身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などについて**国語B・数学B**では、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などについて出題されます。**理科**では知識と活用を一体的に出題されます。

教科調査の結果分析より

《国語科の調査結果に見える本校生徒の傾向》

※概要について、よかったことにも触れながら記述する

■課題①

知識を活用する設問（国語B）に課題がある。

■課題②

言語についての知識・理解・技能の正答率が低かった。

■課題③

資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く力が弱い傾向にある。

□良い点

読む能力については力がついている。

《数学科の調査結果に見える本校生徒の傾向》

※概要について、よかったことにも触れながら記述する

■課題①

知識を活用する設問（数学B）に課題がある。

■課題②

記述式で答える問題は正答率が極めて低い。

■課題③

図形は用語や概念の理解が十分でないため論理的に答える力が不足している。

□良い点

関数においては、平均正答率を上回っている。

《理科の調査結果に見える本校生徒の傾向》

※概要について、よかったことにも触れながら記述する

■課題①

物理的領域の正答率が低い。

■課題②

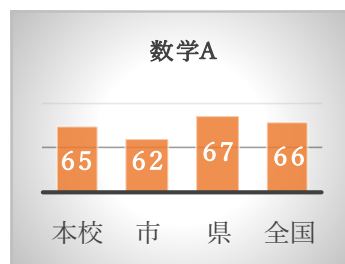
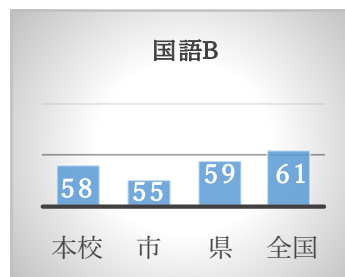
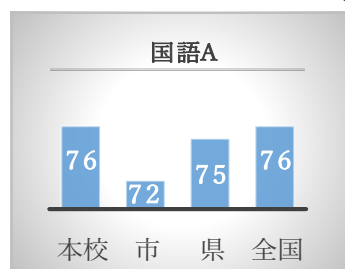
地学的・科学的領域で知識を活用する設問に課題がある。

■課題③

情報や根拠を理解していないため考える力が乏しい。

□良い点

化学的な領域においては、他に比べると正答率が高かった。



質問紙調査の結果分析より

生徒質問紙調査は、生徒の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査です。
※顕著な傾向が見られた事柄について、よかったことにも触れながら記述する

《本校生徒について、気になるのは「生活習慣」と「学習習慣」の領域です》

設 問	家でテレビやビデオ・DVD、ゲーム、インターネットをしている (%)	
	本校	全国
放課後に何をして過ごすことが多いですか	88 ↑	77
週末に何をして過ごすことが多いですか	86 ↑	80

長期間テレビやゲーム、携帯電話やスマートフォンをしている生徒が多く、夜遅くまで起きている生徒が多くなっています。

設 問	肯定的な回答をした生徒 (%)	
	本校	全国
家で、自分で計画を立てて勉強していますか	37 ↓	52
家で、学校の予習・復習をしていますか	34 ↓	55
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強しますか（学習塾、家庭教師の時間も含む）	48 ↑	36

塾に通っている生徒が多い一方で、自分で計画的に学習している生徒が少ない傾向にあります。

《本校生徒について、次のような良い点も見られます》

設 問	肯定的な回答をした生徒 (%)	
	本校	全国
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	87 ↑	81
家の人と学校の出来事について話をしますか	50 ↑	45

調査結果を受けて、本校が具体的に取り組んでいくこと

《書く力、論述する力を高めるために》

基礎・基本の確実な習得とともに、生徒が自分の考えを書いたり、生徒間で意見を交換したりする授業を工夫していきます。

《生活習慣、学習習慣の改善のために》

生活・学習計画の立案や、情報モラル教育等の実施などにより指導を継続していきます。

《主体性や粘り強さを身につけるために》

教科の授業だけでなく、特別活動（学級活動、生徒会活動、学校行事）や部活動などを通して、生徒が主体的に、粘り強く取り組むよう指導していきます。

家庭のご協力をお願いします

各ご家庭においても、お子様がよりよい生活習慣・学習習慣を身につけられるよう、ご協力よろしくをお願いします。また、学校では放課後補充教室等を実施していますので、お子様に参加を勧めるなど積極的にご活用ください。